

講演会

# 岩淵悦太郎と

## 国立国語研究所の白河言語調査

日時 2019年9月29(日)

午後1:30~3:00 (開場午後1時)

会場 白河市立図書館 りぶらん

地域交流会議室(多目的ホール)

定員 200名(入場無料) ※事前申し込みは不要です。

### 1 [講演] 白河生まれの日本語学者・岩淵悦太郎

斎藤 達哉(専修大学教授)

元文化庁専門職(国語調査官)

元国立国語研究所主任研究員

### 2 [講演] 国立国語研究所の白河市言語調査

阿部 貴人(専修大学准教授)

統計数理研究所客員准教授

元国立国語研究所プロジェクト研究員

### 3 [学生企画] 岩淵悦太郎と白河のことば

岩淵悦太郎が自著中に記している白河の言葉に関する話題や、昭和24年の白河調査と現在の白河の言葉との比較など、専修大学日本語学科の学生たちによるレポートを行います。

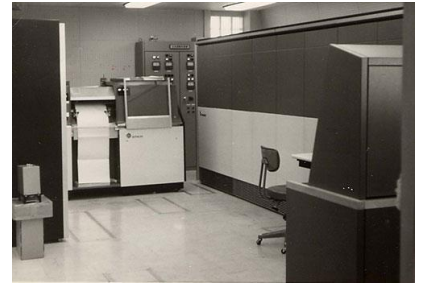
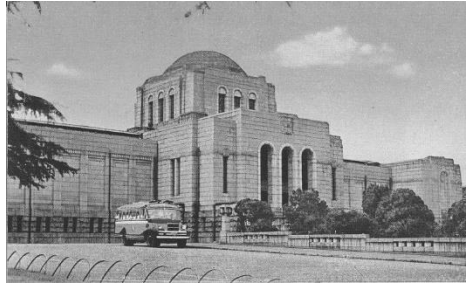
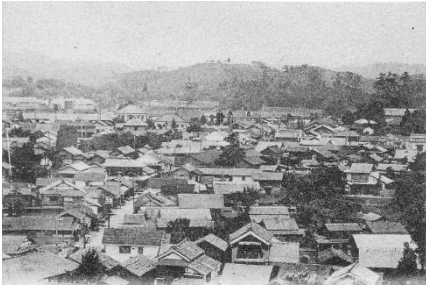
主催：専修大学文学部日本語学科

後援：白河市、白河市教育委員会、国立国語研究所

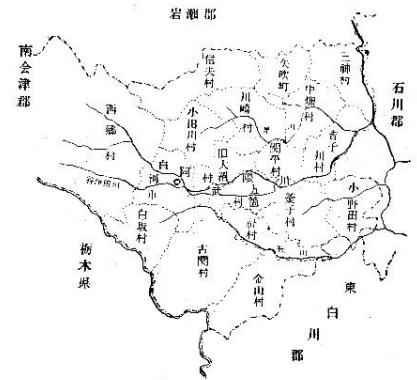
問合せ先：thb0799@isc.senshu-u.ac.jp(専修大学斎藤達哉研究室)



この講演会は、日本学術振興会 科研費・基盤研究（C）「1940-1950年代の日本語政策史研究の精緻化に関する緊急調査」、及び、国立国語研究所 共同利用型研究「日本語研究の戦前と戦後—国立国語研究所草創期に關与した研究者を通して明らかにする日本語の研究史」の研究成果をもとにして、白河市民のみなさんへ、白河の言葉を見つめ直す機会や、市立図書館に収蔵されている本に関心を持っていただけるきっかけを提供することを目的としています。



27		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ
28																																				
29																																				



## 1 [講演] 白河生まれの日本語学者・岩淵悦太郎

齋藤 達哉（専修大学教授）

岩淵悦太郎は、国語教育に「学校文法」を導入したほか、日本語研究の分野でも、大規模な言語調査や電子計算機を使った研究方法を導入するなど、大きな功績を残しています。白河で生まれた岩淵が、現代日本語研究に人生をかけるに至った背景は何であったのでしょうか。人生の転機を追いながら、人物像に迫ります。また、最近発見された岩淵の講演の録音音声の中から、白河の方言が色濃く表れている個所などを紹介します。

## 2 [講演] 国立国語研究所の白河市言語調査

阿部 貴人（専修大学准教授）

国立国語研究所勤務時に大規模言語調査を担当した経験をもとに、言語調査の意義について紹介します。また、国立国語研究所が設立された翌年の昭和24年には、岩淵らの主導で白河市での言語調査を行っています。白河市における言語調査・研究のなかで生まれた「全国共通語」という概念についても解説します。

## 3 [学生企画] 岩淵悦太郎と白河のことば

岩淵悦太郎が自著中に記している白河の言葉に関する話題や、昭和24年の白河調査と現在の白河の言葉との比較など、専修大学日本語学科の学生たちによるレポートを行います。

